

会津美里町観光振興計画（案）パブリックコメントの意見について

計画本編

No.	頁番号	タイトル	項目	意見	意見に対する施策所管課の考え方と計画への反映概要
1	10頁～11頁	2. 計画の基本目標	全体目標の設定と算出方法	「計画の基本目標」のどこかに参考資料数値として「伊佐須美神社入込数」は記載しておくべき。カウントに仕方をどうするかは他所事例を参考にすればよい。	ご意見を踏まえ、「全体目標の設定と算出方法」の※3として、伊佐須美神社の入込客数を神社発表の参考数値として記載いたします。カウント方法については神社と協議していきます。
2	21頁	戦略プログラム4	②六次化などによる特産品開発、販路開拓	別紙2のとおり	計画には「特区活用等を推進する」と記載されていますので、原案のとおりとします。 なお、今回のワイン特区については、農政係が中心となり特区の必要性や進め方について提案者と共に検討していきます。
3	39頁	アクションプラン3	A. 外部サポーターの形成	6行目中ほどの「交流活動などより柔軟性のある活動を目指し・・・」は「交流活動などにより柔軟性のある活動を目指し・・・」ではないか。	ご意見のとおり、修正します。
4	40頁	アクションプラン3	C. これからの事業を推進するための連携による体制づくり	核となるキーマン（有識者）・人材の確保なくして実現はほど遠いと思われるのに、一言も触れられていない。何故なのか。前期計画同様に机上議論で終わらせてはならないと考える。	「・プロデューサー人材、プレイヤーの育成」にあるプロデューサー人材が、「核となる人材」との意味が含まれていましたが、ご意見を踏まえ、「・プロデューサー的人材（核となる人材）の確保、プレイヤーの育成」に修正します。合わせてP22も修正いたします。
5	42頁	観光まちづくり推進体制アクションプラン	—	6行目中ほどで「必要な人事の確保や人材育成を行いながら」とは、職員体制のことと理解してよい。また、7行目中ほどで「将来的にはDMO的な推進組織の構築を目指す。」と述べているが、計画上では令和7年度に「DMO的組織の構築」と記しているのに曖昧で本気度が感じられない計画にはならないか。	お見込みのとおり、「人事の確保」は観光協会の職員体制を指しています。が、人事の確保は観光協会の内部の判断となるため、ご意見を踏まえ、「職員の人材育成を行いながら」に修正いたします。 また、DMO的組織の構築については、この後期計画期間内に目指したいことから、ご意見を踏まえ、「将来的には」を削除いたします。
その他				この計画の中で多使用されている「カタカナ言葉」には疑問がある。平易な使用頻度で通じる単語、外来語と言えるものもありますが、多分にコンサルタントの作成によるところが大きいと推測する。どうしても使用の必要性があるならば、カッコ書きを添えるか、注釈があるべき。例えば、「リソース（資源・資産）」、「コンテンツ（内容・情報の中身）」、「アクティビティ（活動・活気）」など。また、P22、戦略プログラム5の②ワンストップ型おもてなし体制の構築で「コーディネーター機能」に※があるのに注釈がない。全般をチェックし、誰でも読んで解り易い書き方が必要。	ご意見を踏まえ、カタカナ言葉にカッコ書き又は注釈を追加します。